

1. 入院基本料に関する事項

- ①当院は、厚生労働大臣が定める基準によって入院医療の届出をおこなっている保険医療機関であり、DPC対象病院です。入院患者さんのご負担による付添看護は認められていません。

※DPC 係数 1.5056

(内訳)	機能評価係数Ⅰ	0.3306
	機能評価係数Ⅱ	0.0995
	基礎係数	1.0451
	救急補正係数	0.0304

- ②入院基本料に関し、以下のとおり施設基準の届出をしています。

対象病棟	病棟等	届出をしている施設基準名
一般病棟	第5病棟 第6病棟 第7病棟 第8病棟 第9病棟 第11病棟	急性期一般入院料 1
		2.5対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上)
		夜間100対1急性期看護補助体制加算
		夜間看護体制加算
		看護補助体制充実加算 1
		看護職員夜間1.6対1配置加算 1
	第5病棟 ※15歳未満の 小児患者さん	小児入院医療管理料 4
第10病棟	地域包括ケア病棟入院料 2	
	看護職員配置加算	
結核病棟	第11病棟の 一部	7対1入院基本料
精神病棟	神経精神科病棟	1.3対1入院基本料
		看護補助加算 2
		看護補助体制充実加算 2

③看護職員等の配置については以下のとおりです。

病棟名	勤務看護職員数	看護要員 1 人当たりの 平均受持ち患者数		看護補助者数
		1日あたり	8時30分～ 17時00分	
第5病棟	21人以上	3人以内	6人以内	
第6病棟	16人以上	4人以内	11人以内	4.0人以上
第7病棟	15人以上	5人以内	14人以内	3.0人以上
第8病棟	16人以上	4人以内	13人以内	4.0人以上
第9病棟	15人以上	5人以内	14人以内	2.0人以上
第10病棟	15人以上	5人以内	13人以内	3.0人以上
第11病棟	14人以上	5人以内	12人以内	2.0人以上
神経精神科病棟	13人以上	4人以内	8人以内	0.1人以上

2. 入院中の食事について

当院では、管理栄養士によって管理された食事を適時・適温で提供しており、夕食は午後6時以降にお出ししています。

また、医師、看護職員、管理栄養士が共同して入院患者さんの栄養状態を把握し、特別な栄養管理が必要な場合は栄養管理計画を作成しています。一般病棟、神経精神科病棟では、ディルームで食事ができるようになっています。病状の安定した患者さんをご利用できます。

入院中の食費については、以下のとおりです。

70歳未満の方	70歳以上の高齢者	標準負担額(1食あたり)	
下記のいずれにも該当しない方		510円	
小児慢性特定疾病児童等または指定難病患者		300円	
低所得者 (住民税非課税)	低所得者Ⅱ	90日まで	240円
		91日目以降	190円
	低所得者Ⅰ (老齢福祉年金受給権者)	110円	

3. 入院診療計画及び院内感染防止対策、褥瘡対策、医療安全対策について

- ①入院の際に、医師をはじめとする関係職員が共同で患者さんに関する診療計画を策定し、文書を交付のうえ説明をしています。
- ②院内感染の状況を監視しており、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）等の院内感染防止対策として、建物出入口や病棟入口などの院内各所に速乾式手洗消毒液を設置しています。
- ③医療安全推進室を設置し、院内各部門からインシデント報告を収集・分析して改善に努めています。
- ④入院患者さんの褥瘡リスクをチェックし、必要に応じて褥瘡回診をおこなうなどの管理をしています。

4. その他施設基準に関する事項

- ①手術の通則5、および6に掲げる手術の当院における年間症例数および大腿骨近位部骨折後48時間以内に手術を実施した年間症例数は、以下のとおりです。

※令和7年1月～12月分

1、区分1に分類される手術

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	3例
イ	黄斑下手術等	0例
ウ	鼓室形成手術等	0例
エ	肺悪性腫瘍手術等	68例
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	0例

2、区分2に分類される手術

ア	靭帯断裂形成手術等	1例
イ	水頭症手術等	4例
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0例
エ	尿道形成手術等	4例
オ	角膜移植術	0例
カ	肝切除術等	10例
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	5例

3、区分3に分類される手術

ア	上顎骨形成術等	0 例
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	1 例
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	1 例
エ	母指化手術等	0 例
オ	内反足手術等	0 例
カ	食道切除再建術等	0 例
キ	同種腎移植術等	0 例

4、区分4に分類される手術

234 例

5、その他の手術

ア	人工関節置換術	22 例
イ	乳児外科施設基準対象手術	0 例
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	50 例
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	0 例
オ	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	101 例

大腿骨近位部骨折後48時間以内に実施した手術の令和7年1月～令和7年12月における年間症例数は以下のとおりです。

大腿骨近位部骨折後48時間以内に実施した手術	13 例
------------------------	------

②当院の昨年1年間の分べん数、および医師・助産師数は次のとおりです。

※令和7年1月～12月分

分べん数	医師数	助産師数
327 件	6 名	22 名

5. 入院特別室等の料金について

当院では、各病棟に入院特別室（特別病室、および個室）を用意しています。使用料金については以下のとおりとなっています。

特別室名	料金 (1日につき)	病棟名	部屋番号等
特別病室 1床	15,400円 (税込)	第7病棟	708 (バス、トイレ、テレビ、電話、ミニキッチン、冷蔵庫付き)
個室 43床	7,700円 (税込)	第5病棟	505、510、515、516、517、 518、519
		第6病棟	609、611、612、613、614、 615、619
		第7病棟	709、717、718、719、720、721
		第8病棟	809、812、813、818、819、 821、822
		第9病棟	909、915、919、920
		第10病棟	1009、1013、1015、1016、 1017、1018、1019
		第11病棟	1107、1108、1109、1111、 1124

6. 特別初診料について

当院では、他の医療機関からの紹介状なしに当院を直接受診した場合に、初診時保険外併用療養費として特別初診料 1,650円（税込み）をいただきます。ただし、救急や公費負担等の患者さんはこの限りではありません。

7. 入院期間が180日を超える入院にかかわる特別長期入院料について

一般病棟に入院される患者さんで、入院医療の必要性は低いが、患者さん側の事情により入院期間が180日を超える入院料については、1日2,783円（税込み）を実費負担していただきます。

8. 明細書の発行状況について

当院では、医療の透明化や患者様への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬算定項目の分かる明細書を無料で発行

しております。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行しています。

なお、明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点をご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行も含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出ください。

9. 間歇スキャン式持続血糖測定器（算定告示に掲げる療養としての使用を除く）について

当院では、間歇スキャン式持続血糖測定器を診療報酬上対象とならない患者さんが使用する場合、選定療養費として通常の診療費とは別に以下の金額を実費負担していただきます。

FreeStyle	リブレ2	センサー	6,600円（税込）
FreeStyle	リブレ2	リーダー	6,600円（税込）